

川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた  
将来人口推計（更新版）  
～令和2年国勢調査結果等の公表を踏まえた更新～  
【抜粋版】

令和4（2022）年2月

川崎市

## I 推計の目的

本市が令和3（2021）年4月に公表した将来人口推計（以下、「4月公表推計」）では、令和2年国勢調査の結果が公表されていなかったことから、平成27年国勢調査を基に、住民基本台帳登録数を加減して算定した令和2（2020）年10月時点の本市推計人口（以下、「住民基本台帳登録等人口」）を基準人口として推計を行った。

その後、令和3（2021）年11月に令和2年国勢調査結果（人口等基本集計）が公表され、4月公表推計の基準人口と比較したところ、性別・年齢別・区別人口に差が生じていたことから、令和2年国勢調査結果を新たな基準人口にするとともに、出生と死亡に関しても、基準人口と時点を合わせ最新のデータを反映し、推計の更新を行うものである。

## Ⅱ 推計の前提条件及び推計の内容

### 1 推計の前提条件 **更新**

推計期間については、令和2年国勢調査（人口等基本集計）による人口（国が不詳をあん分等によって補完した不詳補完値）を基準とし、令和47(2065)年までを推計期間とした。

また、基準人口と時点を合わせ令和2(2020)年の人口動態統計データを用いて、推計を行った。

4月公表推計では、令和3(2021)年4月時点で令和2年国勢調査結果及び令和2(2020)年における人口動態統計が公表されていなかったことから、直近の統計データ及び住民基本台帳登録等人口を用いて推計を行った。

推計項目については、「区別性年齢5歳階級別人口」及び「世帯類型別一般世帯数」である。

### 2 推計の内容

4月公表推計と同様に、性年齢別人口の推計手法として代表的な推計手法である「コーホート要因法」<sup>1</sup>によって推計を行った。

#### (1) 出生率・出生性比の考え方 **更新**

今回の推計では、出生率について、人口動態統計による令和2(2020)年の各区における女性(15～49歳)の5歳階級別出生数を基にした令和2(2020)年の出生率に更新し、推計を行った。

出生性比は、4月公表推計と同様の内容としている。

4月公表推計では、人口動態統計及び住民基本台帳登録等人口による平成28(2016)年から令和2(2020)年までの各区における女性(15～49歳)の出生数及び出生性比を基に、令和2(2020)年における女性(15～49歳)の5歳階級別の出生率を算出するとともに平均出生性比を算出し、推計に適用した。

#### (2) 死亡率の考え方 **更新**

今回の推計では、人口動態統計による令和2(2020)年の各区における性年齢別の死亡数を基に、性年齢別死亡率を算出し、推計に適用した。

<sup>1</sup>コーホート要因法：ある年の男女・年齢別人口を基準として、ここに人口動態率や移動率などの仮定値を当てはめて将来人口を計算する方法（国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）について」）

4月公表推計では、人口動態統計による令和元（2019）年の各区における性年齢別の死亡数を基に、性年齢別死亡率を算出し、推計に適用した。

### （3）移動率の考え方 **更新**

今回の推計では、移動率について、令和2年国勢調査結果に基づく平成27（2015）年から令和2（2020）年の社会移動から算出した性年齢別の社会移動と平成27年国勢調査結果に基づく平成22（2010）年から平成27（2015）年の社会移動から算出した性年齢別の移動率の平均値に更新し、推計に適用した。

なお、新型コロナウイルス感染症や大規模住居系開発の影響の移動率への反映は、4月公表推計と同様の内容としている。

4月公表推計では、平成27年国勢調査結果に基づく平成22（2010）年から平成27（2015）年の社会移動と、住民基本台帳登録等人口に基づく平成27（2015）年から令和2（2020）年の社会移動から算出した性年齢別の移動率の平均値に対して、新型コロナウイルス感染症が流行した令和2（2020）年における社会移動の変化を考慮した上で、推計に適用する移動率を算出した。移動率の算出にあたっては、大規模住居系開発の影響を除いた移動率とするために、過去の大規模住居系開発実績を控除している。

### （4）大規模住居系開発の見込み

大規模住居系開発の見込みについては、4月公表推計と同様の内容としている。

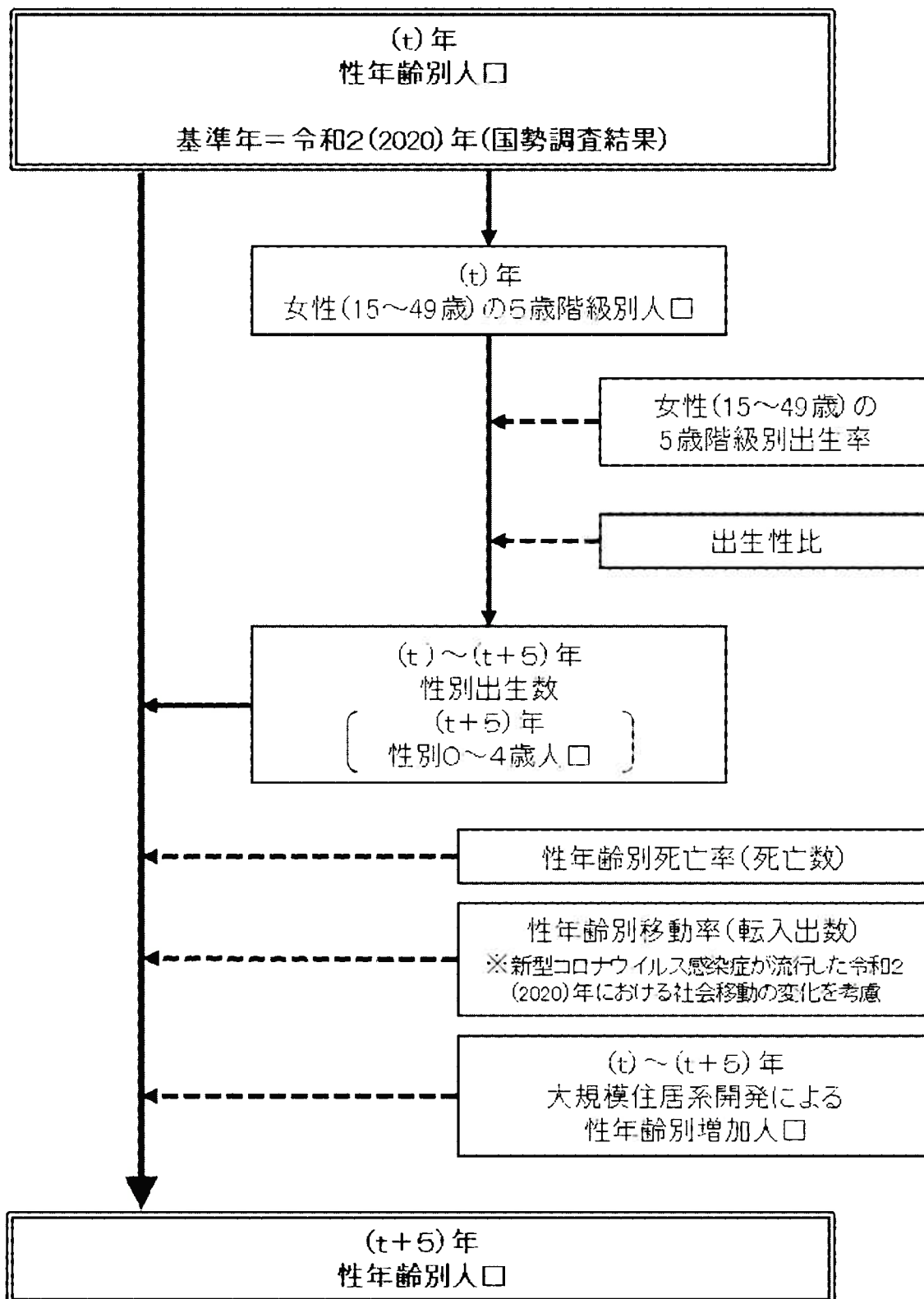
4月公表推計では、令和2（2020）年時点での大規模住居系開発の見込みについて更新し、想定増加人口の推計を行った。

### （5）世帯数の推計 **更新**

今回の推計人口の結果を踏まえ、令和2年国勢調査の世帯主率をもとに推計を行った。

4月推計では、推計人口の結果に対し、平成27（2015）年国勢調査における世帯主率を基に、住民基本台帳登録数を考慮して算出した令和2（2020）年時点の世帯主率を用いて推計を行った。

推計方法の概要（フロー図）



## Ⅲ 推計結果

### 1 総人口

#### (1) 総人口

駅周辺を中心とした拠点開発の進捗と周辺地域への波及効果により、本市の人口は、引き続き、当面増加傾向を示すことが想定され、令和12(2030)年頃に約160.5万人となりピークを迎え、以降、自然減が社会増を上回るかたちで人口減少への転換が想定される。【図表1-1】

○ピーク年（5年間隔）：令和12(2030)年頃  
○ピーク値：約160.5万人（令和2(2020)年比：4.2%増）

図表1-1 推計結果

	H27年 (2015年)	R2年 (2020年)	R7年 (2025年)	R12年 (2030年)	R17年 (2035年)	R22年 (2040年)	R27年 (2045年)	R32年 (2050年)	R37年 (2055年)	R42年 (2060年)	R47年 (2065年)
総数	1,475,200	1,538,300	1,582,200	1,605,300	1,605,000	1,592,300	1,572,500	1,548,800	1,520,400	1,487,200	1,448,800
0～14歳	187,000	189,600	184,500	178,800	178,100	176,300	172,700	167,800	162,200	156,800	152,600
(うち0～4歳)	66,100	64,100	64,000	64,800	64,600	62,700	61,000	59,200	56,700	55,100	54,600
15～64歳	1,001,300	1,037,200	1,060,000	1,056,700	1,017,500	965,700	930,100	906,300	890,200	867,900	843,700
65歳以上	287,000	311,500	337,700	369,700	409,500	450,300	469,700	474,700	467,900	462,500	452,600
(うち75歳以上)	131,600	160,300	200,300	217,100	223,500	237,900	263,300	292,600	304,000	302,200	288,500
割合											
0～14歳	12.7%	12.3%	11.7%	11.1%	11.1%	11.1%	11.0%	10.8%	10.7%	10.5%	10.5%
(うち0～4歳)	4.5%	4.2%	4.0%	4.0%	4.0%	3.9%	3.9%	3.8%	3.7%	3.7%	3.8%
15～64歳	67.9%	67.4%	67.0%	65.8%	63.4%	60.6%	59.1%	58.5%	58.6%	58.4%	58.2%
65歳以上	19.5%	20.3%	21.3%	23.0%	25.5%	28.3%	29.9%	30.6%	30.8%	31.1%	31.2%
(うち75歳以上)	8.9%	10.4%	12.7%	13.5%	13.9%	14.9%	16.7%	18.9%	20.0%	20.3%	19.9%
対2020年人口	--	0	43,900	67,000	66,800	54,100	34,200	10,500	-17,900	-51,100	-89,400

※調整処理を行っているため、合計が合わない場合があります。

#### (2) 年齢3区分別人口

年少人口<sup>2</sup>は、令和2(2020)年頃の約19万人をピーク（基準となる令和2(2020)年と平成27(2015)年及び推計期間の中での最大値）として、今後減少過程に移行すると想定される。

生産年齢人口<sup>3</sup>は、令和7(2025)年頃まで増加を続け、約106万人をピークとしてその後減少過程に移行すると想定される。

老年人口<sup>4</sup>は、当面増加を続け、令和7(2025)年頃までの間に65歳以上の人口割合が21%を超え、超高齢社会が到来すると想定される。ピークは令和32(2050)年頃の約47.5万人と想定される。【図表1-1、1-2】

※後述の結果表においては統計処理値を一位まで示しているが、一位を四捨五入して調整し、本調査の推計値として扱う。

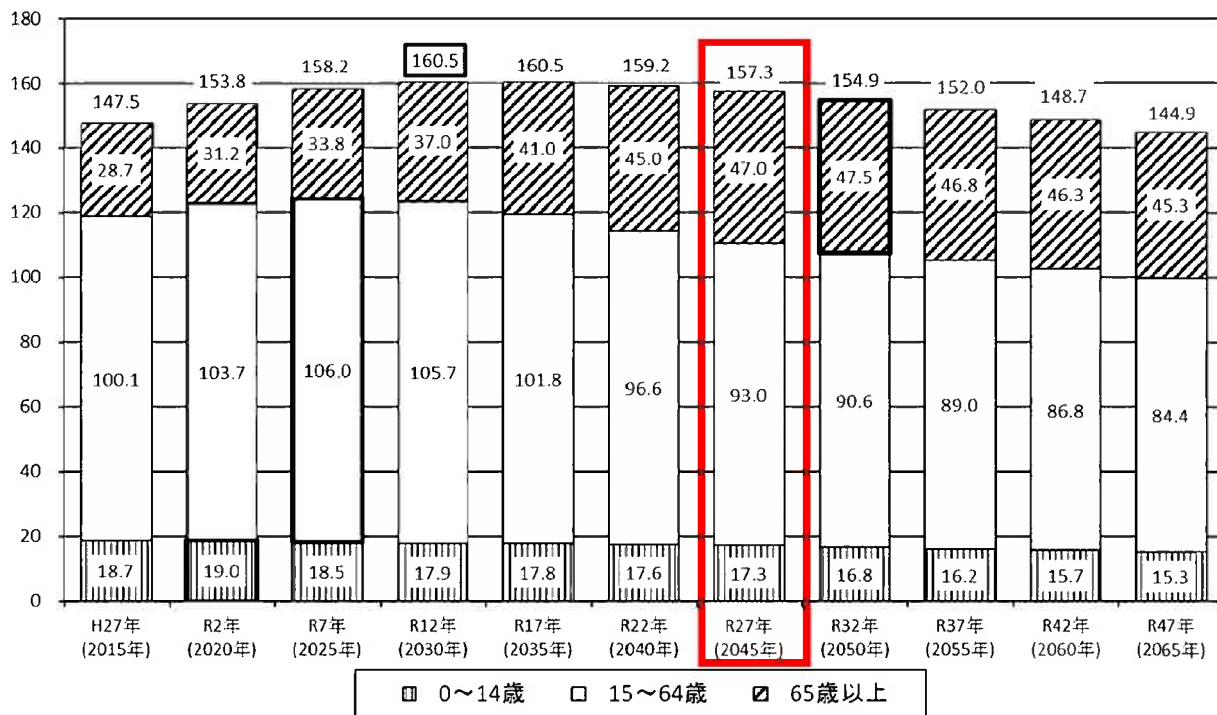
<sup>2</sup>年少人口：0歳～14歳の人口

<sup>3</sup>生産年齢人口：15歳～64歳の人口

<sup>4</sup>老年人口：65歳以上の人口

(万人)

図表 1-2 年齢3区分別人口



※端数処理を行っているため、合計が合わない場合があります。

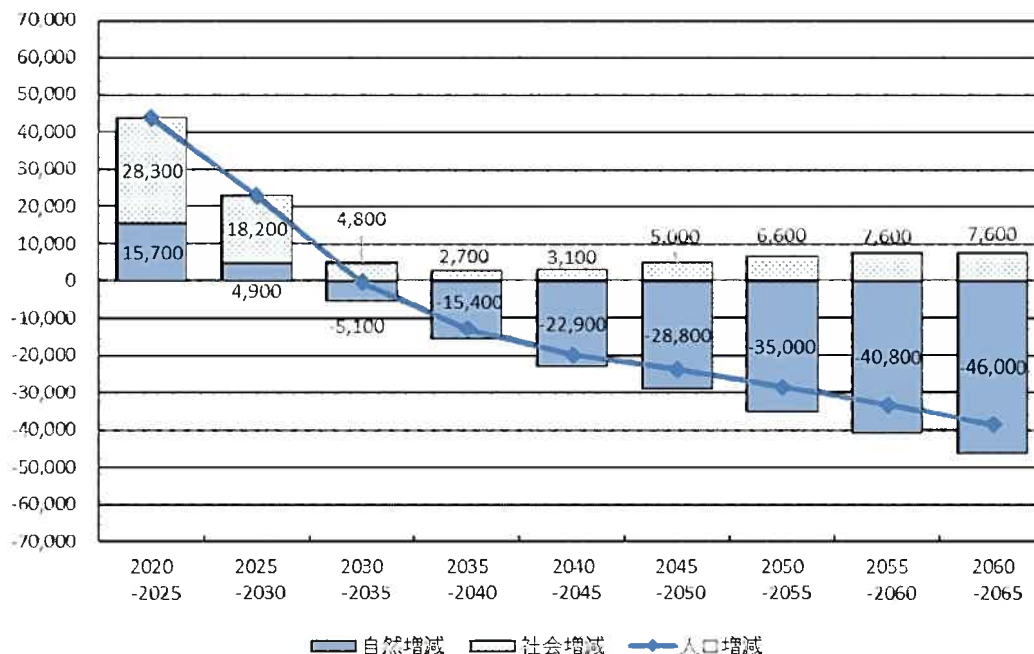
### (3) 人口動態

自然動態については、令和 12(2030)年から令和 17(2035)年の間に自然減に移行すると想定される。

社会動態については、一貫して社会増で推移するが、増加幅は一旦縮小し、その後拡大すると想定される。【図表 1-3】

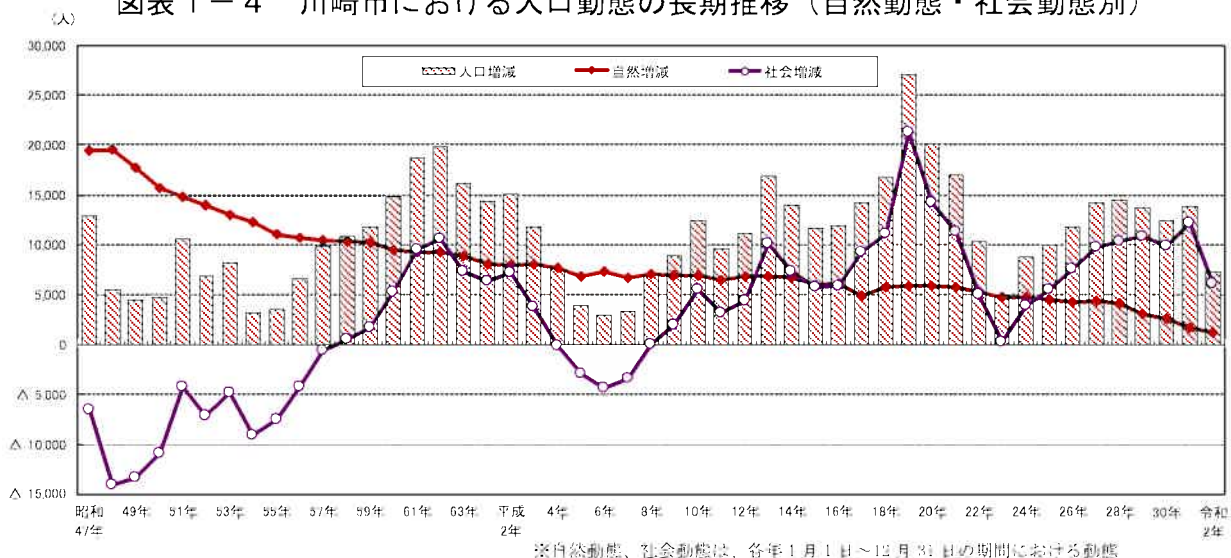
(人)

図表 1-3 動態内訳



現在までの本市における人口動態の長期推移を見ると、景気をはじめとする社会経済環境などの変化に強く影響を受けやすいと考えられ、また、新型コロナウイルス感染症の影響をはじめとした今後の社会変容の予測が困難な状況であることから、中長期的な将来人口については、今後も検証を行っていく。【図表1-4】

図表1-4 川崎市における人口動態の長期推移（自然動態・社会動態別）

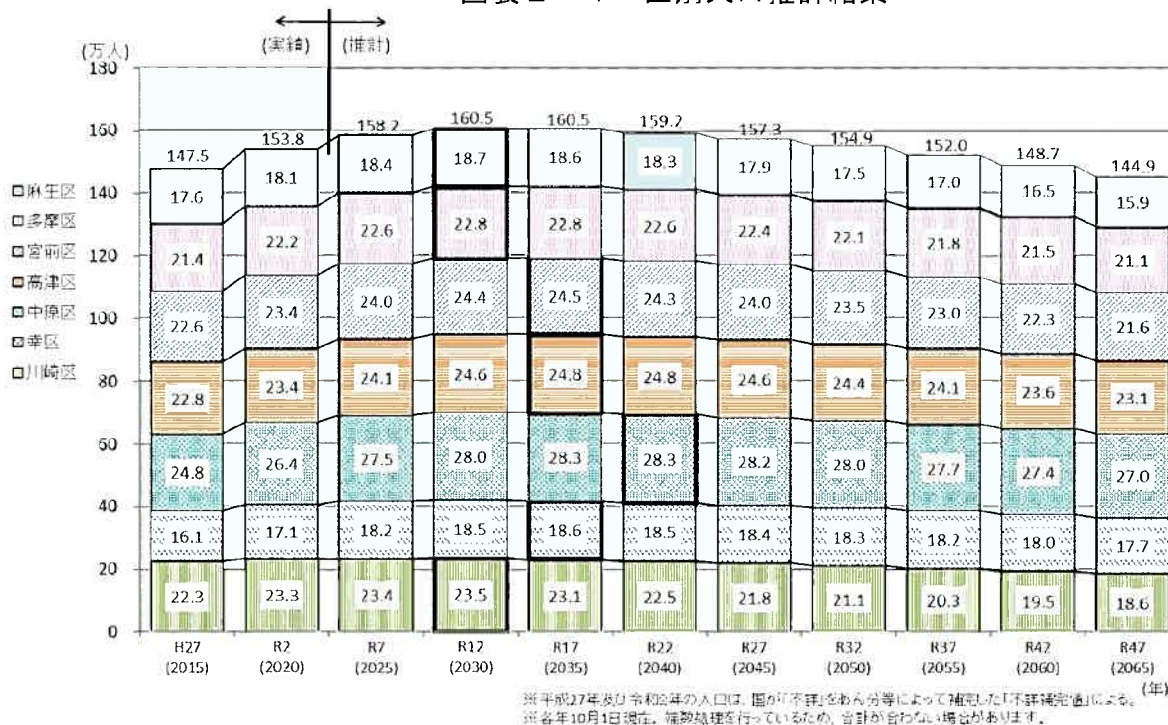


## 2 区別人口

### (1) 区別人口

川崎区・多摩区・麻生区の人口については、令和12(2030)年頃をピークに減少過程に移行すると想定される。また、中原区の人口については、令和22(2040)年頃をピークに減少過程に移行すると想定される。【図表2-1】

図表2-1 区別人口推計結果

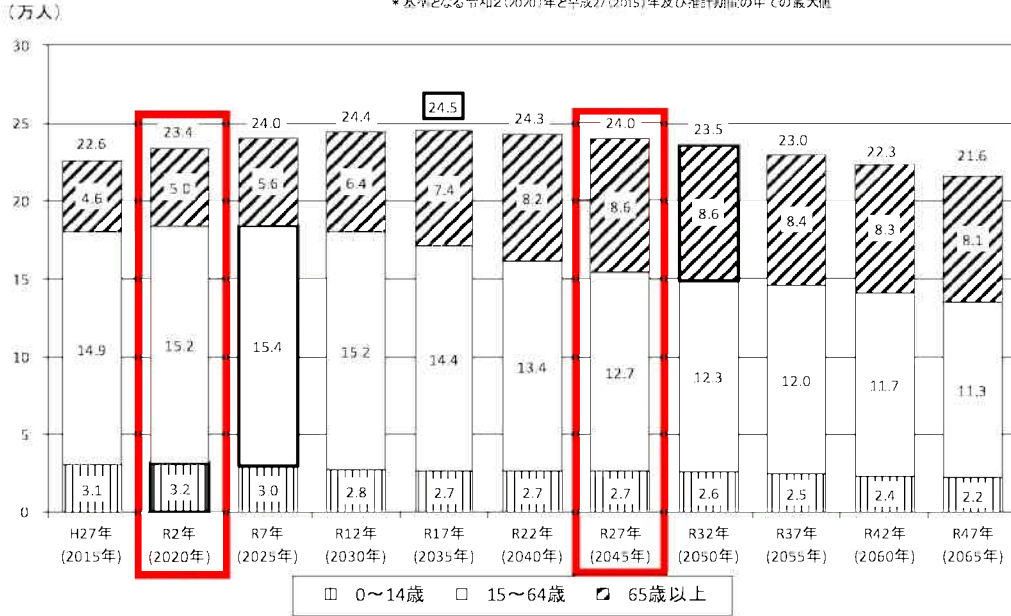




【宮前区】

総人口のピーク : 令和17（2035）年頃 約 24.5万人  
 老年人口のピーク : 令和32（2050）年頃 約 8.6万人  
 生産年齢人口のピーク : 令和7（2025）年頃 約 15.4万人  
 年少人口のピーク\* : 令和2（2020）年頃 約 3.2万人

\* 基準となる令和2（2020）年と平成27（2015）年及び推計期間中での最大値



宮前区	H27年 (2015年)	R2年 (2020年)	R7年 (2025年)	R12年 (2030年)	R17年 (2035年)	R22年 (2040年)	R27年 (2045年)	R32年 (2050年)	R37年 (2055年)	R42年 (2060年)	R47年 (2065年)
総数	225,800	233,700	240,000	244,100	244,600	242,900	239,600	235,100	229,500	223,100	215,800
男性	110,800	113,400	114,800	115,100	114,000	112,000	109,400	106,300	102,500	98,500	94,300
女性	114,800	120,300	125,300	128,900	130,600	130,900	130,200	128,800	127,000	124,700	121,500
0～14歳 (うち0～4歳)	30,700 10,200	31,900 10,100	30,100 9,100	27,900 9,100	27,000 9,200	26,900 9,100	26,700 8,900	26,200 8,700	25,200 8,100	23,900 7,500	22,400 7,200
15～64歳	148,900	152,100	154,000	152,000	144,000	134,300	127,200	122,600	120,000	116,800	112,900
65歳以上 (うち75歳以上)	46,000 20,000	49,700 25,800	55,900 33,800	64,200 38,000	73,700 40,600	81,700 45,000	85,700 51,000	86,400 56,400	84,300 58,600	82,500 58,400	80,500 55,500
割合											
0～14歳	13.6%	13.7%	12.6%	11.4%	11.0%	11.1%	11.1%	11.1%	11.0%	10.7%	10.4%
15～64歳	66.0%	65.1%	64.2%	62.3%	58.9%	55.3%	53.1%	52.1%	52.3%	52.3%	52.3%
65歳以上	20.4%	21.3%	23.3%	26.3%	30.1%	33.6%	35.8%	36.7%	36.7%	37.0%	37.3%
2020年人口	--	0	6,300	10,300	10,900	9,200	5,900	1,400	-4,200	-10,600	-17,900

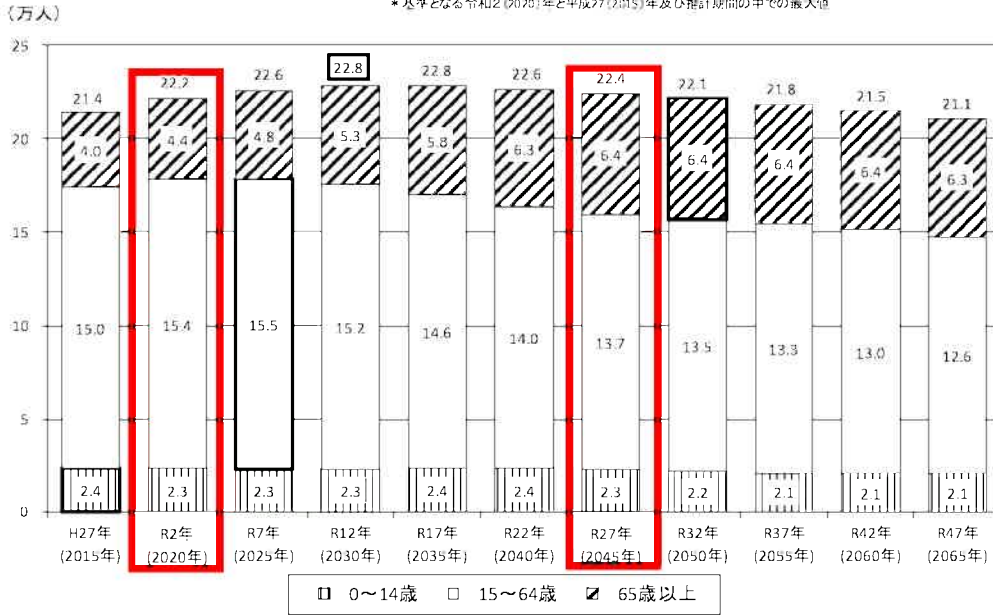
	2020-2025	2025-2030	2030-2035	2035-2040	2040-2045	2045-2050	2050-2055	2055-2060	2060-2065
人口増減	6,300	4,000	600	-1,700	-3,300	-4,500	-5,600	-6,400	-7,300
(単年あたり)	1,300	800	100	-300	-700	-900	-1,100	-1,300	-1,500
自然増減	1,500	-1,000	-3,200	-5,500	-7,300	-8,600	-10,100	-11,500	-12,900
(単年あたり)	300	-200	-600	-1,100	-1,500	-1,700	-2,000	-2,300	-2,600
出生数	9,000	9,100	9,400	9,300	9,100	8,900	8,300	7,700	7,400
死亡数	7,500	10,000	12,600	14,800	16,400	17,500	18,400	19,100	20,200
社会増減	4,800	5,000	3,800	3,800	4,000	4,200	4,500	5,100	5,600
(単年あたり)	1,000	1,000	800	800	800	800	900	1,000	1,100

※ 総数処理を行っているため、合計が合わない場合があります。

【多摩区】

総人口のピーク : 令和12（2030）年頃 約 22.8万人  
 老年人口のピーク : 令和32（2050）年頃 約 6.4万人  
 生産年齢人口のピーク : 令和7（2025）年頃 約 15.5万人  
 年少人口のピーク\* : 平成27（2015）年頃 約 2.4万人

\* 基準となる令和2（2020）年と平成27（2015）年及び推計期間の中での最大値



多摩区	H27年 (2015年)	R2年 (2020年)	R7年 (2025年)	R12年 (2030年)	R17年 (2035年)	R22年 (2040年)	R27年 (2045年)	R32年 (2050年)	R37年 (2055年)	R42年 (2060年)	R47年 (2065年)
総数	214,200	221,700	225,700	228,100	227,900	226,100	223,700	221,300	218,300	214,700	210,500
男性	110,100	113,000	113,800	114,100	113,200	111,500	109,600	107,600	105,300	102,700	99,900
女性	104,100	108,800	111,900	114,100	114,700	114,600	114,100	113,600	113,000	112,000	110,600
0~14歳 (うち0~4歳)	23,800 8,400	23,400 8,300	23,100 8,400	23,300 8,800	23,800 8,900	23,700 8,400	22,900 8,000	21,900 7,800	21,200 7,700	21,000 7,700	21,100 7,800
15~64歳	150,300	154,300	154,800	152,200	146,200	139,800	136,700	134,900	133,400	130,000	126,000
65歳以上 (うち75歳以上)	40,000 18,800	43,900 22,900	47,800 28,400	52,700 30,900	58,000 31,900	62,600 34,100	64,200 37,400	64,400 40,600	63,700 41,200	63,700 40,600	63,400 39,200
割合											
0~14歳	11.1%	10.6%	10.2%	10.2%	10.4%	10.5%	10.2%	9.9%	9.7%	9.8%	10.0%
15~64歳	70.2%	69.6%	68.6%	66.7%	64.1%	61.8%	61.1%	61.0%	61.1%	60.5%	59.9%
65歳以上	18.7%	19.8%	21.2%	23.1%	25.4%	27.7%	28.7%	29.1%	29.2%	29.7%	30.1%
対2020年人口	--	0	4,000	6,400	6,200	4,400	2,000	-500	-3,400	-7,000	-11,300

	2020-2025	2025-2030	2030-2035	2035-2040	2040-2045	2045-2050	2050-2055	2055-2060	2060-2065
人口増減	4,000	2,400	-200	-1,800	-2,400	-2,500	-2,900	-3,600	-4,300
(単年あたり)	800	500	0	-400	-500	-500	-600	-700	-900
自然増減	2,800	1,400	0	-1,700	-2,900	-3,600	-4,200	-4,700	-5,000
(単年あたり)	600	300	0	-300	-600	-700	-800	-900	-1,000
出生数	9,800	10,300	10,500	9,900	9,400	9,100	9,000	9,100	9,200
死亡数	7,100	8,900	10,500	11,600	12,300	12,800	13,300	13,800	14,200
社会増減	1,200	1,000	-200	-100	500	1,100	1,300	1,100	700
(単年あたり)	200	200	0	0	100	200	300	200	100

※単年増減を行っているため、合計が合わない場合があります。

### 3 世帯数

一般世帯数は今後増加を続け、令和17(2035)年頃に約79.3万世帯となり、それ以降は減少過程に移行すると想定される。【図表3-1】

図表3-1 世帯類型別一般世帯数推計結果

(世帯)

	H27年 (2015年)	R2年 (2020年)	R7年 (2025年)	R12年 (2030年)	R17年 (2035年)	R22年 (2040年)	R27年 (2045年)	R32年 (2050年)	R37年 (2055年)	R42年 (2060年)	R47年 (2065年)
一般世帯	689,900	746,000	774,500	790,200	793,300	788,600	779,300	768,100	754,000	736,100	715,200
親族世帯	386,000	395,900	412,400	421,100	422,700	421,900	418,400	411,300	401,000	388,800	376,300
核家族世帯	359,400	373,400	388,300	395,800	396,800	395,900	392,700	386,000	376,100	364,500	352,800
その他の親族世帯	26,600	22,400	24,000	25,300	26,000	26,100	25,800	25,400	24,900	24,300	23,500
非親族世帯	9,200	9,300	9,500	9,400	9,400	9,200	8,900	8,600	8,500	8,300	8,100
単独世帯	294,600	340,800	352,600	359,600	361,200	357,500	352,100	348,200	344,500	339,000	330,800

※端数処理を行っているため、合計が合わない場合があります。

図表3-2 一般世帯の区分

一般世帯	親族世帯	2人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にある世帯員がいる世帯
	核家族世帯	親族世帯のうち、夫婦のみあるいはその子供から成る世帯
	その他の親族世帯	核家族以外の、例えば二世帯同居になっている世帯等
	非親族世帯	2人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にある者がいない世帯
	単独世帯	世帯人員が1人の世帯

図表3-3 区別一般世帯数推計結果

(世帯)

	H27年 (2015年)	R2年 (2020年)	R7年 (2025年)	R12年 (2030年)	R17年 (2035年)	R22年 (2040年)	R27年 (2045年)	R32年 (2050年)	R37年 (2055年)	R42年 (2060年)	R47年 (2065年)
全市	689,900	746,000	774,500	790,200	793,300	788,600	779,300	768,100	754,000	736,100	715,200
川崎区	108,500	122,900	125,700	127,500	126,600	123,900	120,700	117,500	114,100	109,900	105,100
幸区	75,100	80,000	85,000	86,300	86,500	86,500	86,500	86,500	86,000	84,700	83,100
中原区	123,400	134,600	140,500	143,200	144,900	145,000	144,400	143,400	141,900	139,800	137,300
高津区	107,800	113,600	118,300	121,600	123,100	123,300	122,400	120,800	119,100	116,900	114,300
宮前区	94,700	102,200	106,900	110,100	111,300	111,200	109,700	107,400	104,400	101,200	97,700
多摩区	106,400	113,400	116,000	117,000	116,500	115,300	114,000	112,700	111,100	108,700	105,700
麻生区	74,100	79,300	82,100	84,300	84,300	83,300	81,800	79,800	77,500	74,800	72,000

※端数処理を行っているため、合計が合わない場合があります。